

## 地域再生計画新旧対照表

計画書本文

(傍線部分は改正部分)

新	旧
<p><b>1～3</b> (略)</p> <p><b>4 地域再生計画の目標</b> (略) (目標3) 除間伐実施面積の増加 (現行2haを<u>40ha</u>)</p> <p><b>5 目標を達成するために行う事業</b> <b>(5-1) 全体の概要</b></p> <p>市道末松徳光線は、<u>鶴来・白山麓地域から国道157号を介し、松任地域市街地を結ぶ路線であるが、金沢都市圏西部における環状道路の一部を形成することから、市町村合併後の極めて重要な路線と位置付けられ、周辺道路の交通混雑の緩和や公共施設などへの利便性を高める。</u></p> <p>市道部入道安養寺線は、<u>国道157号と野々市町新庄地内(加賀産業開発道路)を直結する基幹的路線であり、道路拡幅並びに両側歩道の設置を行うことにより、歩車道分離による安全性の向上を図るとともに、鶴来地域から松任地域へのアクセスを確保する。</u></p> <p>吉野谷地域における林道倉谷線については、森林へのアクセスを確保し、適切な森林管理を図り、効率的かつ効果的な森林施業を行いながら、林業振興と森林保全による地域環境の改善に<u>資する林道である。</u>倉谷線沿線と当地の交流研修施設である白山里(平成15年整備)周辺を本市における自然体験のモデル地域として位置付け、森林を活用したグリーンツーリズム事業を実施し、交流人口の拡大に努める。</p> <p><u>尾口地域における森林基幹道白尾1号線は、利用区域内森林が県下最大の手取川ダムの水源地にあたるこ</u></p>	<p><b>1～3</b> (略)</p> <p><b>4 地域再生計画の目標</b> (略) (目標3) 除間伐実施面積の増加 (現行2haを<u>7ha</u>)</p> <p><b>5 目標を達成するために行う事業</b> <b>(5-1) 全体の概要</b></p> <p>市道末松徳光線は鶴来・白山麓地域から国道157号を介し、松任地域市街地を結ぶ路線であるが、金沢都市圏西部における環状道路の一部を形成することから、市町村合併後の極めて重要な路線と位置付けられ、周辺道路の交通混雑の緩和や公共施設などへの利便性を高める。</p> <p>市道部入道安養寺線は国道157号と野々市町新庄地内(加賀産業開発道路)を直結する基幹的路線であり、道路拡幅並びに両側歩道の設置を行うことにより、歩車道分離による安全性の向上を図るとともに、鶴来地域から松任地域へのアクセスを確保する。</p> <p>吉野谷地域における林道倉谷線については、森林へのアクセスを確保し、適切な森林管理を図り、効率的かつ効果的な森林施業を行いながら、林業振興と森林保全による地域環境の改善に<u>資する。</u>また、倉谷線沿線と当地の交流研修施設である白山里(平成15年整備)周辺を本市における自然体験のモデル地域として位置付け、森林を活用したグリーンツーリズム事業を実施し、交流人口の拡大に努める。</p>

とから、森林整備の推進により、良質な水資源確保に資する重要な役割を果たしている林道である。市道女原2号線、国道360号と連絡することによって、森林の総合的な利用による都市と山村の交流促進が見込まれるとともに、奥地集落住民の災害時の迂回路などにも活用が可能となる。

白峰地域における林道三ツ池線は、白尾1号線と同様に手取川上流域に位置し、水源地域の森林の適切な整備及び保全を図り、効率的かつ安定的な林業経営を確立するための林道である。国道157号に繋がる市道三ツ池高原線に連絡することによって、近接地にある観光施設である白山恐竜パーク白峰と連携して、散策や学校の野外活動、自然教育の場としての利用の増加が見込まれる。

白峰地域における森林基幹道白木峠線は、小松市と白山市を結ぶ路線であり、広大な利用区域内の森林整備により、県土の保全や良質な水資源確保に資する林道である。国道416号、国道157号及び林道赤谷線に連絡することによって、地域間交流の推進が見込まれるとともに、災害時の迂回路などにも活用が可能になる。

#### (5-2) 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

[事業期間]

- ・林道 (平成19年度～23年度)

[整備量及び事業費]

- ・市道 2,010m、林道 2,037m
- ・総事業費 2,417,580千円  
(うち交付金1,208,790千円)  
市道 1,540,000千円  
(うち交付金770,000千円)  
林道 877,580千円  
(うち交付金438,790千円)

#### (5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

[事業期間]

- ・林道 (平成19年度～20年度)

[整備量及び事業費]

- ・市道 2,010m、林道 200m
- ・総事業費 1,597,600千円  
(うち交付金798,800千円)  
市道 1,540,000千円  
(うち交付金770,000千円)  
林道 57,600千円  
(うち交付金28,800千円)

### (5-3) その他の事業

5-3-1 (略)

5-3-2 基本方針に掲げられた支援措置によらない独自の取組み

白山市では、地域再生法による特別の措置を活用するほか、以下の他分野にわたる事業と連携し、総合的に地域づくりに取り組んでいる。

(略)

#### ・イベント開催事業

横江の虫送り(松任地域)、おかえりまつり(美川地域)、ほうらいまつり(鶴来地域)、清流まつり・ふじまつり(河内地域)、工芸の里フェスタ・白山スーパー林道ウォーク(吉野谷地域)、一向一揆まつり・そばまつり(鳥越地域)、一里野音楽祭・文弥まつり(尾口地域)、雪だるままつり・百万貫の岩まつり(白峰地域)など、各地域で貴重な資源を活用した独創的なイベントが数多く開催されていることから、今後とも体験交流の目玉として活用し、地域の活性化を図っていく。

#### ・グリーンツーリズム事業

林道倉谷線沿線と交流研修の拠点施設である白山里周辺を中心として、森林を活用した様々なプログラム(森林浴、ブナ林散策、特用林産物オーナー制度、林業体験、炭焼き体験など)と、白山里が実施する体験プログラムが連携したグリーンツーリズム事業を積極的に展開し、新たな山村地域の魅力創出による都市住民との交流拡大に努める。

(略)

#### ・どぶろく特区

古くから霊峰白山の伏流水を用いた清酒、醤油、酢、味噌などの醸造業が盛んである本市鶴来地域は、平成16年12月8日に「どぶろく特区」の認定を受けた。すでに農家民宿での「どぶろく」のふるまいによって、地域経済への波及効果が見られる。今後も地域住民の中から生まれる創意とやる気を大きく育てていくこと

### (5-3) その他の事業

5-3-1 (略)

5-3-2 基本方針に掲げられた支援措置によらない独自の取組み

白山市では、地域再生法による特別の措置を活用するほか、以下の他分野に渡る事業と連携し、総合的に地域づくりに取り組んでいる。

(略)

#### ・イベント開催事業

横江の虫送り(松任地域)、おかえりまつり(美川地域)、ほうらいまつり(鶴来地域)、清流まつり・ふじまつり(河内地域)、工芸の里フェスタ・白山スーパー林道ウォーク(吉野谷地域)、一向一揆まつり・そばまつり(鳥越地域)、一里野音楽祭・文弥まつり(尾口地域)、雪だるままつり・百万貫の岩まつり(白峰地域)など、各地域で貴重な資源を活用した独創的なイベントが数多く開催され、今後とも体験交流の目玉として、地域の活性化を図っていくものである。

#### ・グリーンツーリズム事業

林道倉谷線沿線と交流研修の拠点施設である白山里周辺を中心として、森林を活用した様々なプログラム(森林浴、ブナ林散策、特用林産物オーナー制度、林業体験、炭焼き体験など)と、白山里が実施する体験プログラムが連携したグリーンツーリズム事業を積極的に展開し、新たな山村地域の魅力創出による都市住民の取り入れに努める。

(略)

#### ・どぶろく特区

古くから霊峰白山の伏流水を用いた清酒、醤油、酢、味噌などの醸造業が盛んである本市鶴来地域は、平成16年12月8日に「どぶろく特区」の認定を受けた。すでに農家民宿での「どぶろく」のふるまいによって、地域経済への波及効果が見られる。今後も地域住民の中から生まれる創意とやる気を大きく育てていくこと

を通して、地域の新たな活性化への方策を創造する。

(以下略)

を通して、地域の新たな活性化への方策を創造するも  
のである。

(以下略)